

弥生土器からみた紀伊と東海の地域間交流

萩野谷 正宏

はじめに

時代： 弥生時代前期～中期

対象地域： 紀伊半島南部沿岸（田辺市～新宮市周辺）

分析対象： 八丁田圃遺跡（田辺市）出土土器群

大古Ⅱ遺跡（白浜町）、八反田遺跡（新宮市）出土土器群

1 和歌山県田辺市八丁田圃遺跡の検討

①弥生時代中期前葉（紀伊第Ⅱ様式併行）の外來系土器及び特徴的な土器群について

・伊勢湾沿岸の条痕文系土器（第3図）

[岩滑式]（濃尾平野～矢作川流域）、[続水神平式]（豊川流域）

・伊勢湾沿岸の貝殻描文系土器（石黒 2002）、伊勢湾西岸系土器

[朝日式]（濃尾平野～伊勢湾西岸）など

・櫛描文土器と条痕文系・貝殻文系の折衷とみられる土器群

短頸壺（[紀伊第Ⅱ様式] 併行）（第4図3）

形態・文様帯構成→櫛描文土器 / 施文具（二枚貝）・文様要素（三角形刺突文）→[朝日式]

東播磨など瀬戸内東部系土器の在地化した器種と、東海系土器の接触

受口状口縁壺（[紀伊第Ⅰ様式末～第Ⅱ様式] 併行）（第4図1）

形態・調整（ハケメ）→櫛描文土器 / 受口状口縁（口縁粘土帯付加）→[岩滑式]

→在来系もしくは東部瀬戸内に系譜をもつ櫛描文土器と、東海系土器の属性が同居

→八丁田圃遺跡出土土器群の検討は、弥生時代前期末～中期における東部瀬戸内-紀北-紀南-伊勢湾西岸-伊勢湾東岸における土器型式の連鎖を読み解く上で重要な土器群

②出土土器群の系統 「A系」～「D系」と仮称

A系 遠賀川式土器（遠賀川系土器）及び後続の櫛描文土器（実際にはさらに複数系統）

[紀伊第Ⅰ様式]～[紀伊第Ⅳ様式]

B系 突帯文土器（紀南地方） [瀬戸（白浜町瀬戸遺跡）タイプ]

C系 突帯文土器からの系統的変遷で成立した紀北地方の[紀伊型甕]（胎土に結晶片岩）

→A系の影響を受けつつ変遷 →A系へ収斂

D系 条痕文系土器（伊勢湾沿岸） [岩滑式] [続水神平式]

E系 「貝殻描紋系土器」（伊勢湾沿岸） [朝日式]

O系 その他、複数系統の属性が同居する一群

- ➔ 紀南地域の中期前葉：紀北地域とは異なる土器群が成立していた可能性
東海系土器の搬入や、在来における施文具などの非視覚的属性の採用は、故地からの一定度の集団の移動・移住を想定すべきか

- ・紀伊半島南部出土の中期条痕文系土器の様相

- 八丁田圃遺跡 [岩滑式]新相 ([岩滑式2期]・[岩滑式3期]・[統条痕紋系土器])・[統水神平式]

- 八反田遺跡 [岩滑式]または[統条痕紋系土器]

- 熊岡Ⅱ遺跡、大目津泊Ⅰ遺跡 [岩滑式2期]～[岩滑式3期]

- 高見遺跡 [平沢型壺] (浜名湖周辺～天竜川流域周辺か)

- ➔ 和歌山県域で確認される中期前葉の条痕文系土器・[岩滑式]新相～後続段階 (濃尾平野～矢作川流域) が主体

- ➔ おおむね紀伊第Ⅱ様式の新相に併行する時期に多数流入

- ➔ 濃尾平野～矢作川流域 (伊勢湾西岸)、豊川流域 (伊勢湾東岸) 以東などの複数の系譜

- ・紀伊半島南部出土の「朝日式」・「貝田町式」の様相

- 八丁田圃遺跡 [朝日式]

- 大古Ⅱ遺跡 [朝日式] [貝田町式] (伊勢湾西岸)

- 八反田遺跡 [貝田町式] (伊勢湾西岸)

- ➔ [貝田町式]は伊勢湾西岸からの搬入品が主体

- ・紀伊半島南部出土の弥生中期東海系土器

- ➔ 中期前葉：濃尾平野～矢作川流域周辺の条痕文系土器を主体とする様相

- 中期中葉：伊勢湾西岸の櫛描文系土器「貝田町式」を主体とする様相へと大きく変化

- ➔ 伊勢湾西岸・三河湾の島嶼部・渥美半島や知多半島の複数ルートが発信源 → 紀伊半島の東側沿岸→南部平野～田辺平野の西側沿岸へ流入

- ➔ 特に中期前葉は、八丁田圃遺跡などの大規模集落が遠隔地間交流の拠点として機能か

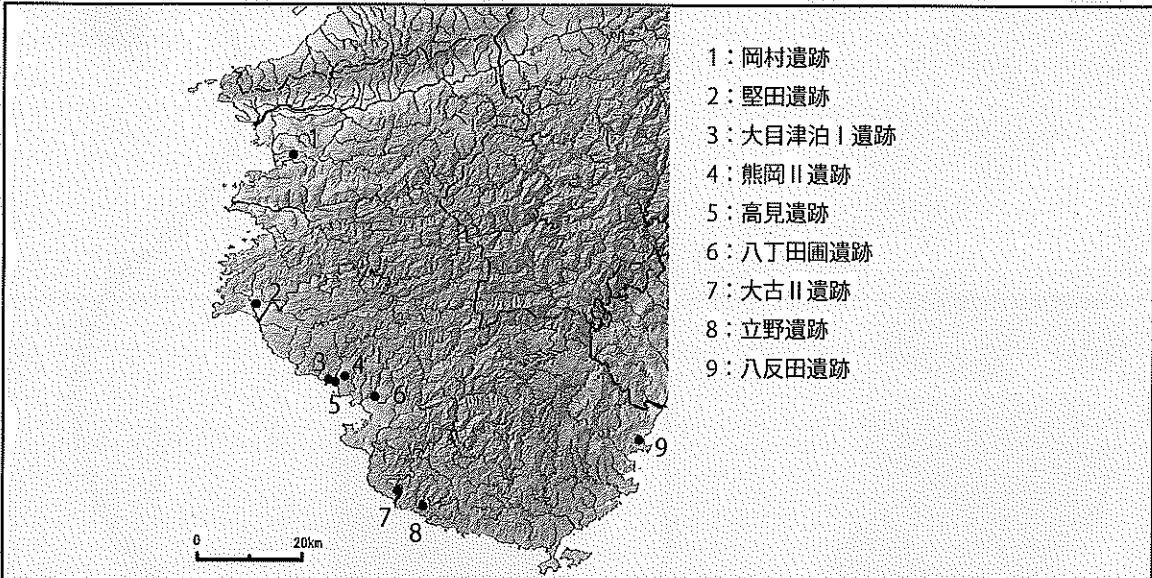
まとめ 今後の課題

紀伊半島南部出土の櫛描文系土器の系譜・紀北地域系、瀬戸内東部系要素

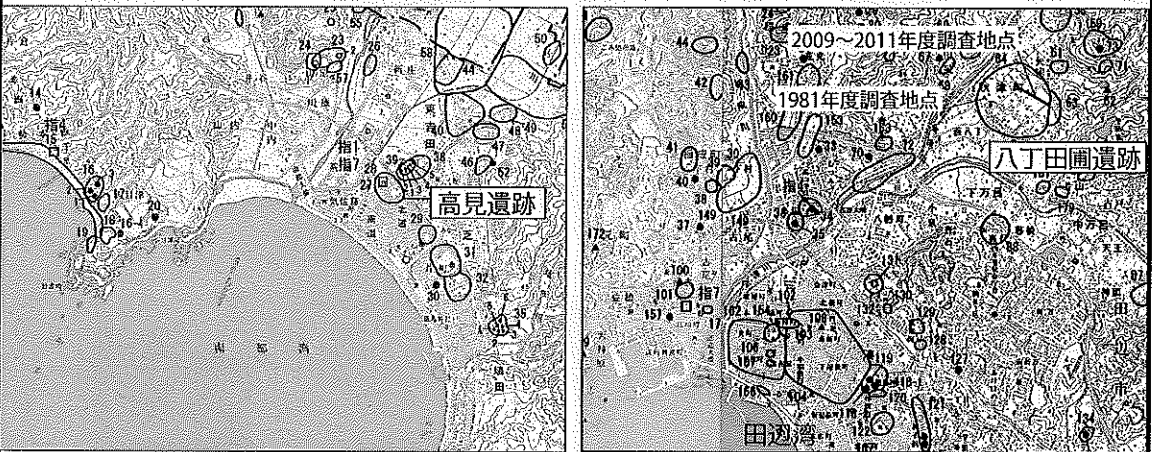
瀬戸内東部～紀伊半島南部～伊勢湾周辺～駿河湾～南関東地方における地域間交流

→ 外来系土器の搬入や在地製作の実体解明

土器型式における諸属性にみる地域間連鎖を読み解く作業

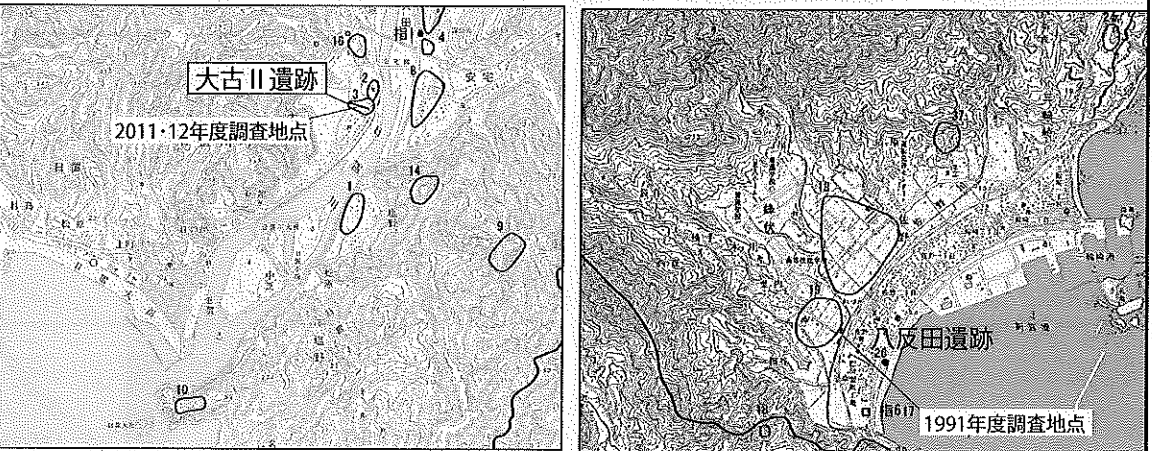


第1図 和歌山県内の関連遺跡位置図



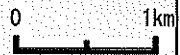
高見遺跡 (みなべ町)

八丁田圃遺跡 (田辺市)

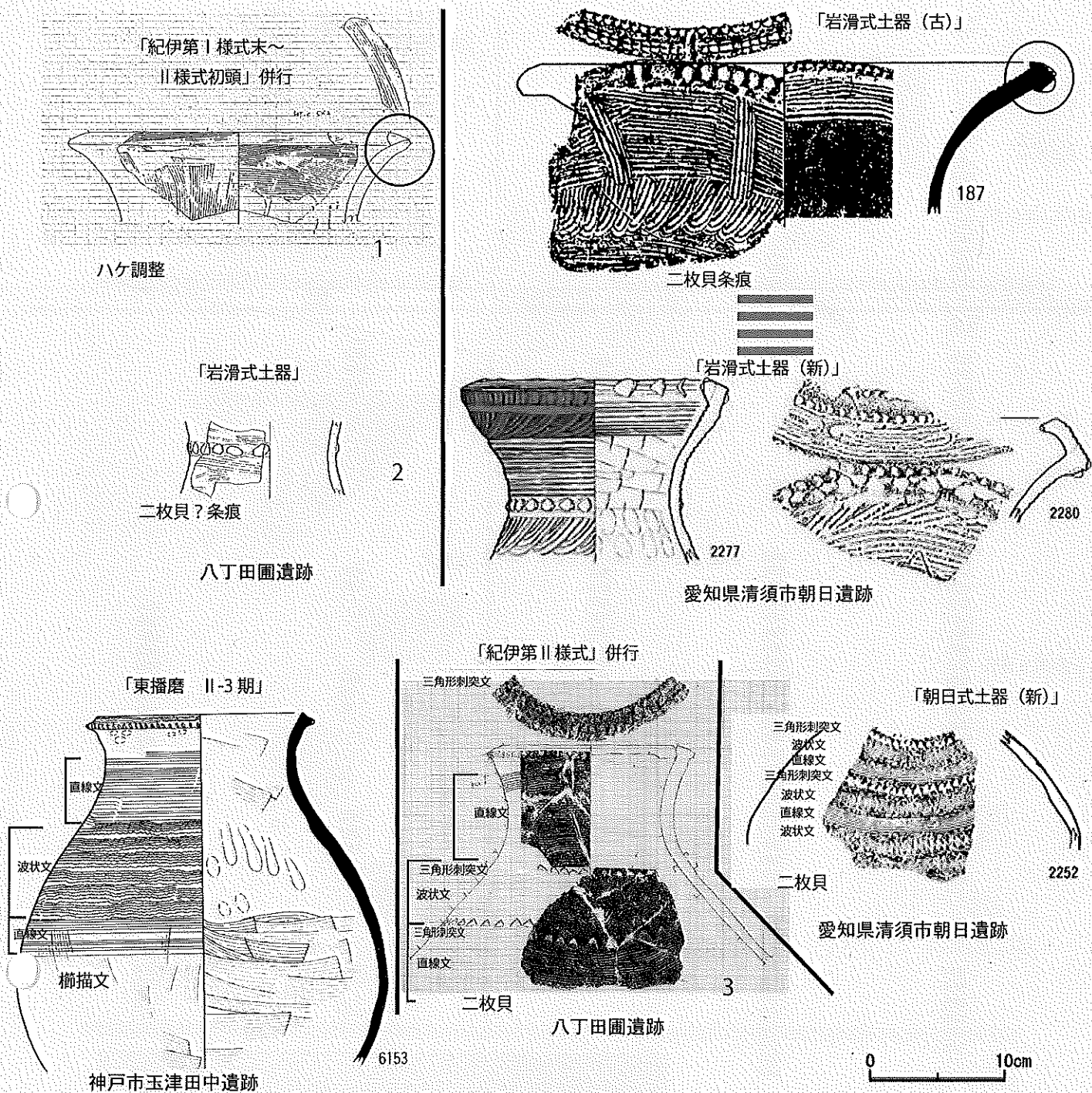


大古遺跡 (白浜町)

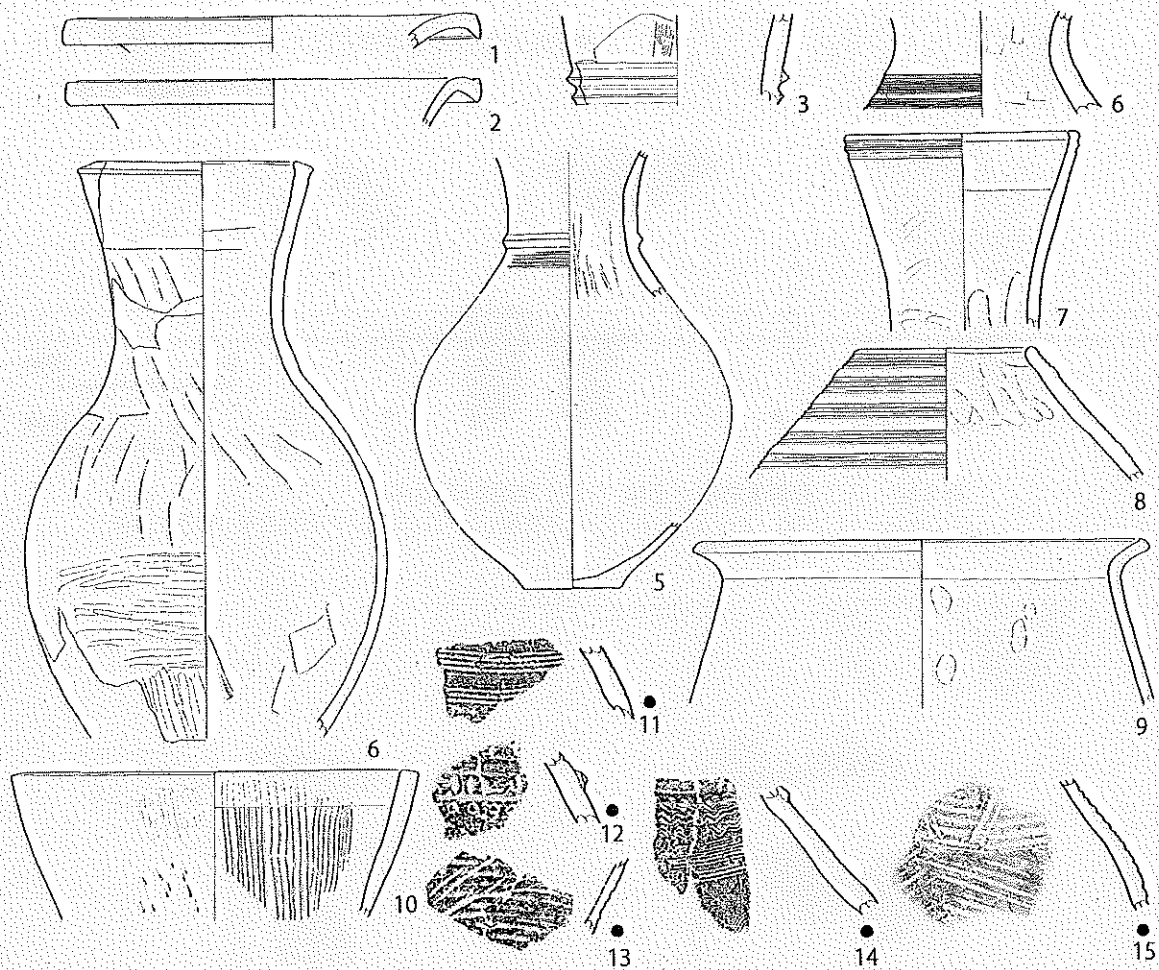
八反田遺跡 (新宮市)



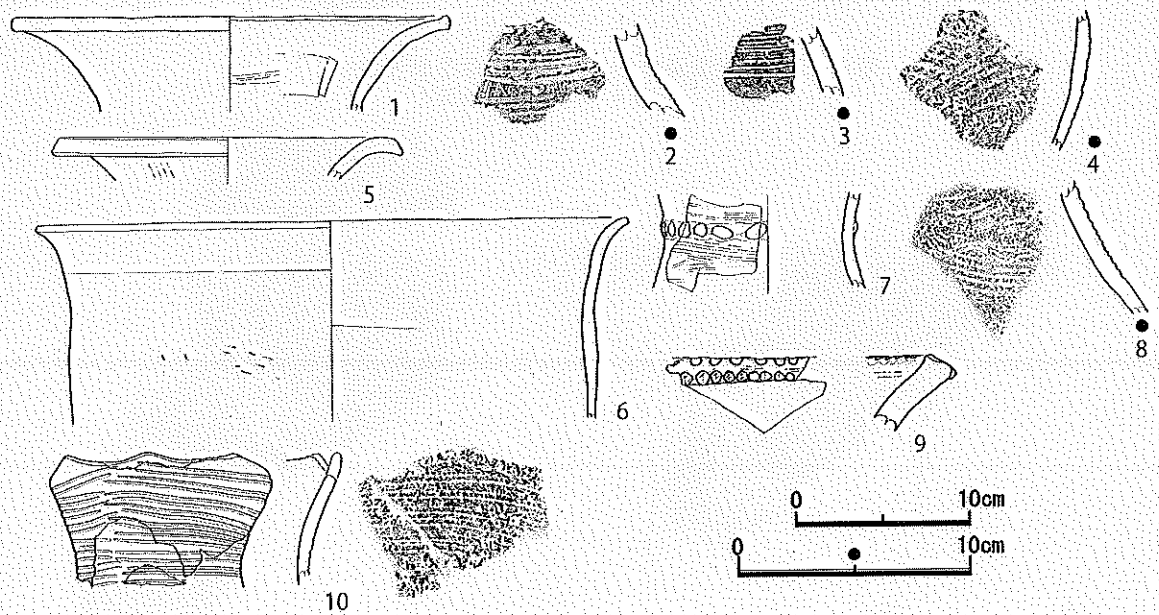
第2図 関連遺跡位置図



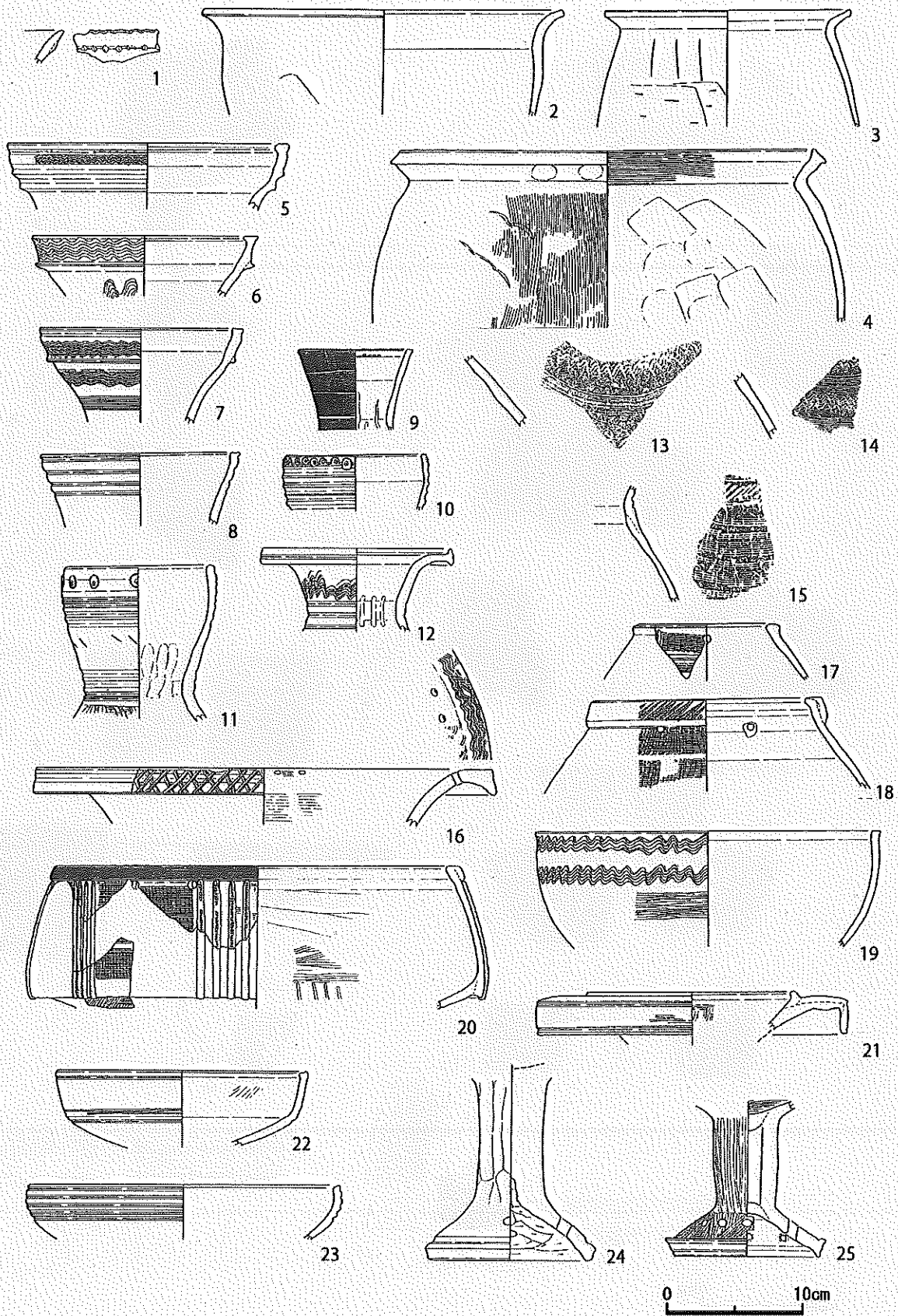
第4図 八丁田圃遺跡出土土器のうち
 櫛描文土器と東海系土器(条痕紋系土器、貝殻描文系土器)の折衷とみられる資料



第6図 八丁田圃遺跡出土土器 (1981年度調査地点)
 1~13: 流路 14・15: SD3 (萩野谷 2016)

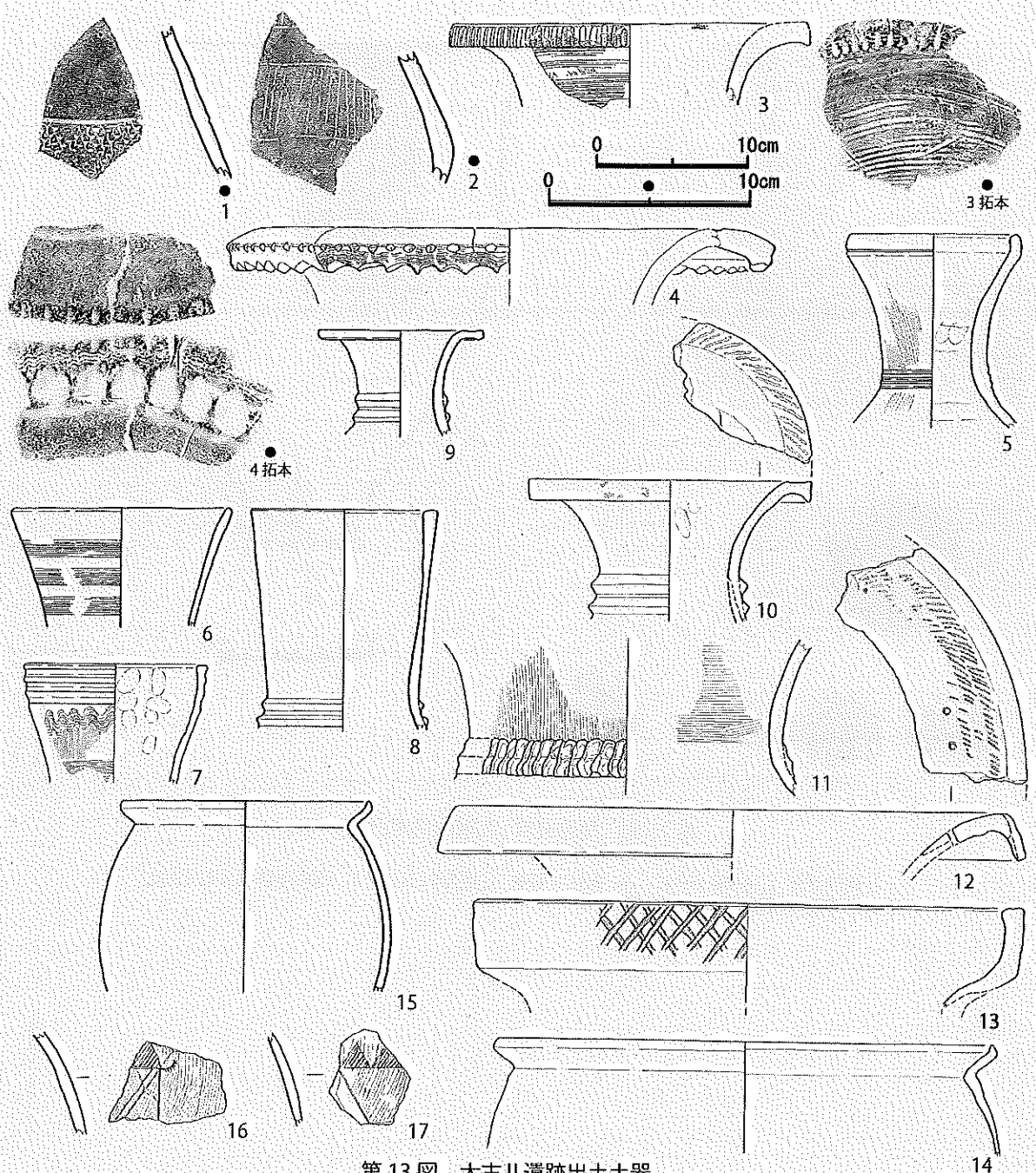


第7図 八丁田圃遺跡出土土器 (1981年度調査地点)
 1~4: SK15 5~8: SK16 9・10: SK7 (萩野谷 2016)



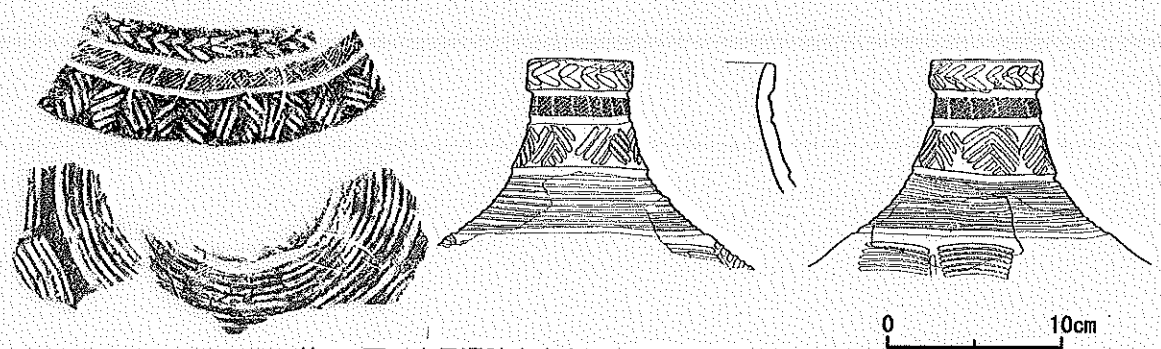
第11図 八反田遺跡出土土器

1~12・14・15・17・18 : B層 13:A区SK05 16:C区 19:A区2・3層 (川崎2012)

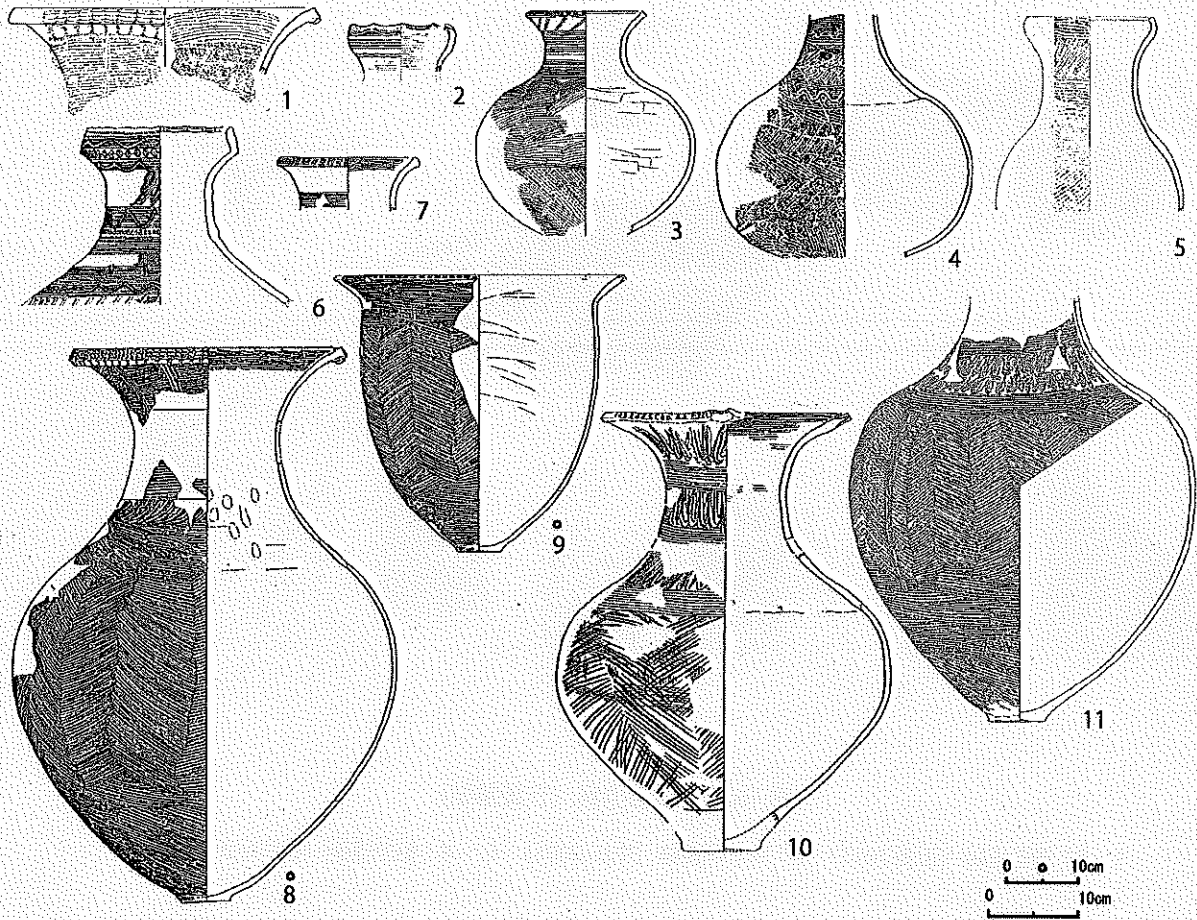


第13図 大古II遺跡出土土器

1・2：7区 3・5・7・11：遺構7004 4：遺構7050 6・8・9・15：4区 10・12~14：遺構7005
 16・17：遺構7037・7042 (1~4：筆者作図 5~17：寺西編2015)

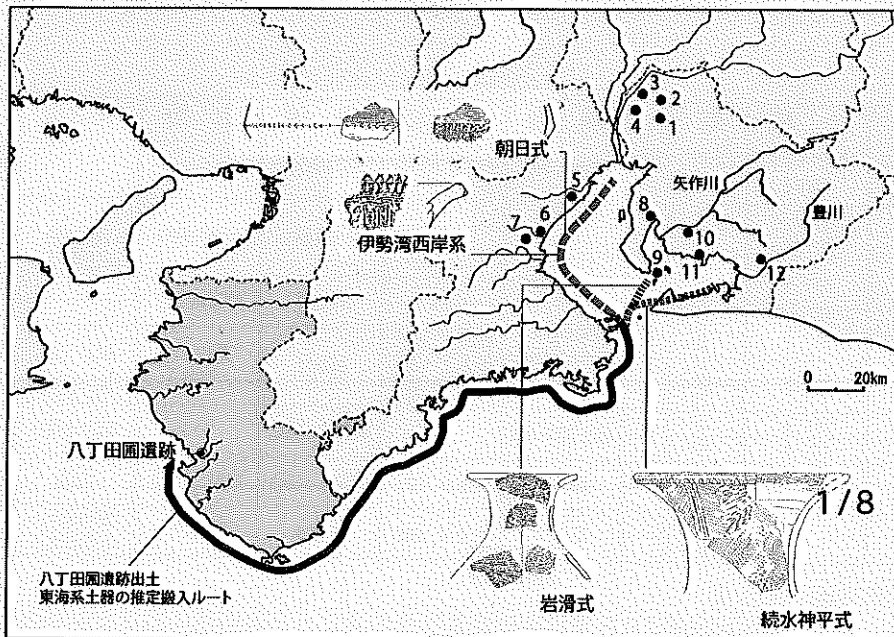


第14図 高見遺跡出土土器 (萩野谷 2013)



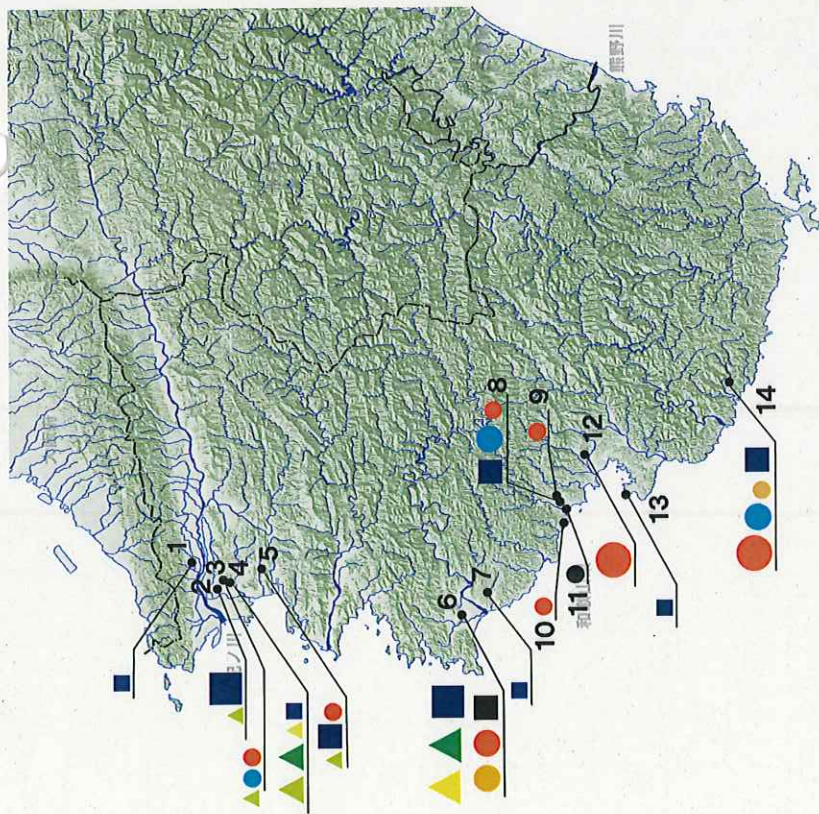
第16図 関連資料 (愛知県域)

1・2：朝日遺跡 (宮腰編 1994) 3：猫島遺跡 (州寄編 2003) 4～7：岡島遺跡 (池本編 1990・池本編 1993)
8～11：麻生田大橋遺跡 (前田編 1993)



第17図 関連遺跡位置と八丁田遺跡出土東海系土器の推定搬入ルート (萩野谷 2016)

1：朝日遺跡 2：猫島遺跡 3：八王子遺跡 4：須ヶ谷遺跡 5：須賀遺跡 6：納所遺跡 7：式ノ坪遺跡
8：岩滑遺跡 9：神明社貝塚 10：岡島遺跡 11：江尻遺跡 12：麻生田大橋遺跡

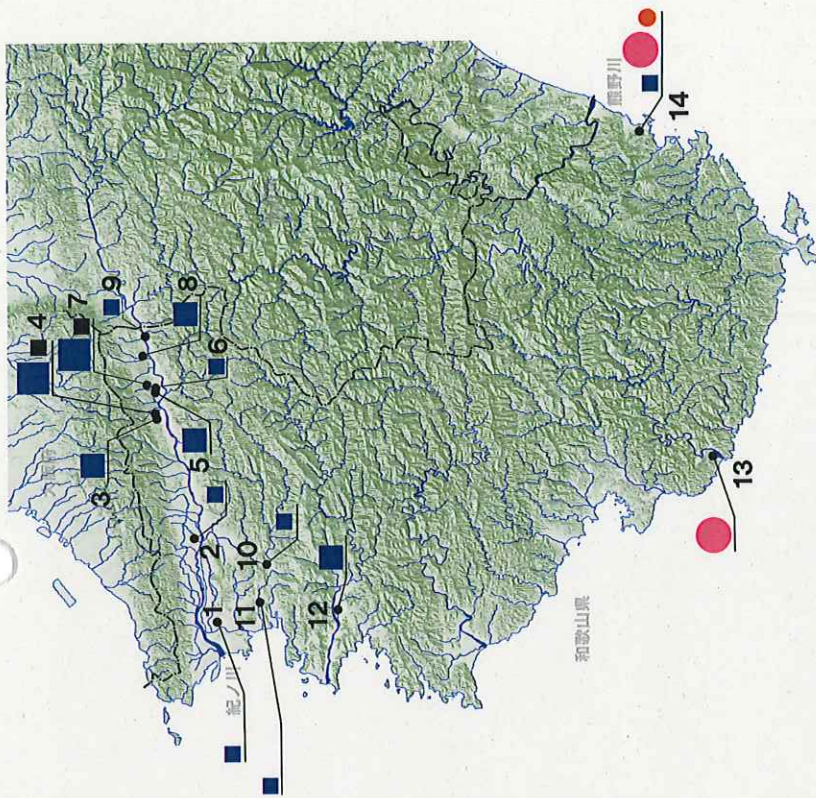


- 1 北田井遺跡 (和歌山市)
- 2 太田・黒田遺跡 (和歌山市)
- 3 井辺遺跡・浮輪Ⅱ遺跡 (和歌山市)
- 4 神前遺跡 (和歌山市)
- 5 岡村遺跡 (海南市)
- 6 堅田遺跡 (御坊市)
- 7 中村遺跡 (御坊市)
- 8 徳蔵地区遺跡 (みなべ町)
- 9 熊岡Ⅱ遺跡 (みなべ町)
- 10 大目津泊Ⅰ遺跡 (みなべ町)
- 11 高見遺跡 (みなべ町)
- 12 八丁田圃遺跡 (田辺市)
- 13 瀬戸遺跡 (白浜町)
- 14 立野遺跡 (すさみ町)

▲	中部瀬戸内
▲	西部瀬戸内
▲	瀬戸内(地域不明)
■	河内(生駒西麓産)
■	和泉
●	東海西部(条痕文系)
●	東海西部(遠賀川系)
●	中部地方(浮線網状文)
●	東海・中部高地(平沢型壺)

出土した点数
 ● 1~2点
 ● 3~4点
 ● 5点以上

弥生時代前期~中期前葉(紀伊第Ⅰ様式~第Ⅱ様式)



- 1 太田・黒田遺跡 (和歌山市)
- 2 岡田遺跡 (岩出市)
- 3 丁ノ町・妙寺遺跡(かつらぎ町)
- 4 西館Ⅱ遺跡 (かつらぎ町)
- 5 高尾遺跡 (紀の川市)
- 6 名古曾Ⅰ遺跡 (かつらぎ町)
- 7 柏原遺跡 (橋本市)
- 8 裏家遺跡 (橋本市)
- 9 血織遺跡 (橋本市)
- 10 瀧ノ口遺跡 (海南市)
- 11 岡村遺跡 (海南市)
- 12 田殿・尾中遺跡 (有田川町)
- 13 大古Ⅱ遺跡 (白浜町)
- 14 八反田遺跡 (新宮市)

■	河内(生駒西麓産)
■	大和
●	東海西部(条痕文系)
●	東海西部 (朝日式・貝田町式(伊勢器群))

出土した点数
 ● 1~2点
 ● 3~4点
 ● 5点以上

弥生時代中期中葉~中期後葉(紀伊第Ⅲ様式~第Ⅳ様式)

第20図 弥生時代前期・中期における他地域の型式学的特徴をもつ土器の分布